



障がい者の方のための 夏季パソコン講座開催

CTF 松阪恒例の夏季パソコン講座、10月は会員スキルアップ研修会を開催しました。

テーマは三つ

- 意思伝達装置「マイトビー」の設定および操作訓練
- 最新のITトレンドの解説と体験
- 障がい者の方に対するIT支援のノウハウについて

各テーマごとにその道の専門家を講師にお迎えし、広範囲かつ奥深い内容の講義を受けて、受講者の皆さんは今後のサポート現場で活かせる知識・技能が得られました。

今年の夏季講座はこれで終了しました。来年も機会があればまた開催をしたいと考えております、ご意見・ご要望がありましたら事務局までご連絡ください。

右の写真は講座受講風景

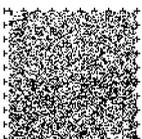


10年前からとか、20年前からパソコンを勉強して有効活用されている会員の皆さんは大勢おられると思います。また、携帯電話は持っているよ、使っているよという方も多いでしょう。ところが、iPOD や iPad (ポータブルタブレット)、iPhone (スマートフォン、スマホと略す) の違いがよく分からないし、パソコンと何が違うのかなあという状況がありましたので、会長からある通信業者にお問い合わせをして頂き、これらの機器の説明会を開いてもらいました。

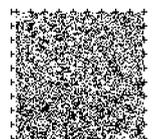
参加者10名ほどの内、ほぼ全員が“携帯電話”を持っていましたが、“インターネットアクセスや検索”をしているのは1名のみ、またスマホの利用者はゼロという現状でした。

ある予測によると、今から4年後の2015年には、携帯機器の80%がスマホとなり、通常の携帯電話は20%という割合になるとのこと。“えー、本当???”という気もしますが、それほど急速に世の中が進んでいるようです。せいぜい“化石”にならないようにしたいですが、スマホは携帯電話とパソコンの中間に位置するそうなので、スマホよりパソコンの方が高級・高レベルと勝手に考えて、ひと安心???

N. Y



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでもください。





98 はプロセスの管理とメッセージ駆動に問題が (3)

Win16Mutex は、同時に使用されることを想定していない 16 ビット・コードを複数の 32 ビット・コードが使用する場合の“調停役”となるもので、仕組みは、Win32 アプリケーションが 32 ビット・コードを処理する場合、Win16Mutex の出番はありませんが、32 ビットのシステム・コードが 16 ビットのモジュールを必要とする場合、システムは 32 ビット・コードを「サンクレイヤ」と呼ばれる変換機能によって 16 ビット・コードに変換し、Win16Mutex を「セット」する。そして 16 ビット・コードの処理が完了した時点で Win16Mutex は「リセット」されます。もし Win16Mutex の「セット」中に他のアプリケーションが同じ 16 ビット・モジュールを呼び出そうとしても、Win16Mutex が「リセット」されるまで処理は待たされます(図 3)。

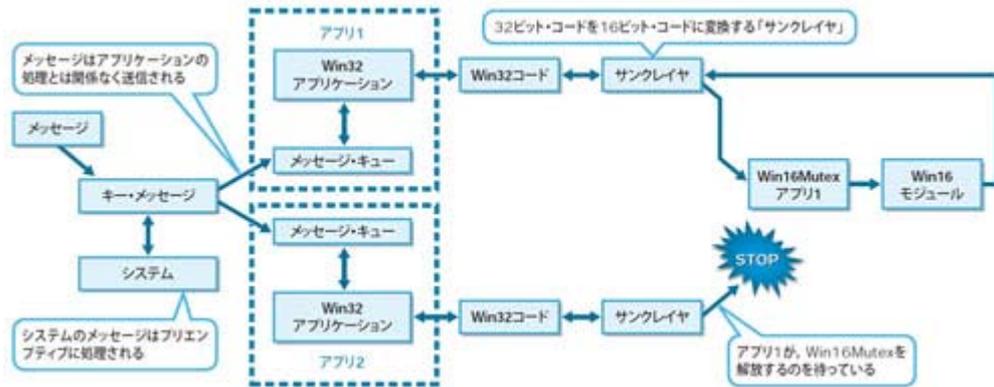
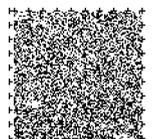


図 3 Windows 98 のメッセージ処理

つまり Windows 98 はアプリケーションが 32 ビット・コードで作られていても、実際には Win16 の制限を引きずって完全なマルチタスクを実現できない。Windows 98 でマルチタスクを実行したとき、一瞬もたつきを感じるのはこのためだったのです。さらに Win16Mutex がセットされた状態でアプリケーションがクラッシュすると Win16Mutex は永遠にリセットされず、他のアプリケーションから使えなくなってしまう、その結果システムが不安定になり、再起動をしなければならないのです。

Windows 98 は「過去との互換性を重視する」というユーザーの要求に応えようとしたことがシステムをここまで複雑にしてしまったのだから、Windows 98 ばかりを責めるのは少々気の毒な気がします。

つづく



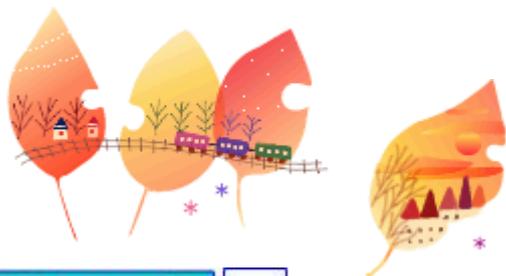
活動報告

【10月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(4日、11日、18日、25日)

障がい者の方のための夏季パソコン講座
(3日、17日、24日)

訪問ITサポート
(12日、19日、23日、27日)



活動予定

【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
1日、8日、15日、22日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



松阪食べある記

たま樹 (たまき)

今月は下村町の県道147号線(通称三重高通り)と県道756号線(通称近鉄道路)との交差点近くにあるカレーうどん専門店「たま樹」を訪ねました。

テナントビルの1階の小ぢんまりした店内は、スタイリッシュでくつろげます。

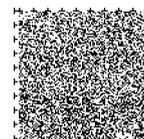
名産松阪肉を使った「牛カレーうどん」を筆頭に、カレーうどん専門店だけあって、豚、鶏、きのこ、野菜とカレーうどんの種類は豊富です。

麺は基本的には細くてやわらかい麺ですが、きしめん風の平麺にも変更してもらえます。また、辛さを選べたり、チーズをトッピングしてもらえたりと、好みに合わせてもらえます。

写真は、店舗外観(上)と
秋たま樹うどん 880円(下)
(サラダ、ご飯、コーヒー付き)



所在地：松阪市下村町1070-3
電話：0598-29-5583
営業時間：11:00~14:30
17:30~21:00 (LO:20:30)
定休日：毎週火曜日、第二水曜日



人の能力，スマホの能力

先日大阪市内でタクシーに乗って行き先を告げたら、その場所は分からないので、「住所はわかりますか？」と聞かれたので、メモを渡したら、運転手はその住所をカーナビに入力し始めた。道を知らなくても、タクシー運転手は務まるわけだ。

しかしカーナビに頼り、道を覚えようとしなからカーナビ無しでは、運転出来ない人も増えてきている。

又地下鉄で乗り換えを間違え、近くにいた若者に訪ねたら、スマートフォンで簡単に検索して、詳しく教えてくれた。お礼を言い若者と別れた。

しかしこの乗り換えアプリも便利だが、いざスマートフォンを忘れた時、電池切れ等のとき、どの路線で行けばよいのか全く見当がつかなくなる・

こうした話しは、「人は便利になると退化する」という逆説的な教訓でもあり、バリアフリー住宅に住み替えたら、お年寄りの痴呆が進んだ、という笑えない例もある。

人間には機械にはない素晴らしい能力がある、未知なるものに適切に判断して、適応していく能力が備わっている。

機械にはプログラム通りに動く能力しかないが、時にエラーを犯すこともあるので過信は禁物である！！

今は、最近買ったスマートフォンの能力に頼ってますけど・・・

I. S



編集後記

菊花の香りがほのかに秋の深まりを知らせてくれます。

朝・晩は少しずつ、冷え込み肌寒く感じる季節です。目を外に向けると秋色が・紅葉は赤く、銀杏は黄色く色づいています。空も澄んで、外出が楽しくなりますね・・・又11月はインフルエンザの予防接種も始まりました。秋のさわやかな風を楽しみましょう。

CTF 通信第 104 号

2011 年（平成 23 年）11 月発行

発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

